

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 27 年 11 月 5 日 (2015.11.5)

【公開番号】特開 2014-101484 (P2014-101484A)

【公開日】平成 26 年 6 月 5 日 (2014.6.5)

【年通号数】公開・登録公報 2014-029

【出願番号】特願 2012-256382 (P2012-256382)

【国際特許分類】

C 0 8 L 23/10 (2006.01)

C 0 8 L 23/16 (2006.01)

C 0 8 L 23/08 (2006.01)

C 0 8 K 5/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 L 23/10

C 0 8 L 23/16

C 0 8 L 23/08

C 0 8 K 5/00

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 9 月 14 日 (2015.9.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

プロピレン系樹脂組成物 (P) および結晶造核剤 (Q) を含有する射出成形用樹脂組成物であって、プロピレン系樹脂組成物 (P) が、

(1) プロピレン系重合体 (A) 5 0 ~ 6 0 重量部と、

(2) プロピレンから導かれる構成単位を 8 9 ~ 5 0 モル % の量で含有し、エチレンから導かれる構成単位を 1 0 ~ 3 0 モル % の量で含有し、さらに炭素原子数 4 ~ 2 0 の - オレフィンから導かれる構成単位を 1 ~ 3 0 モル % の量で含む (ただし、エチレンから導かれる構成単位と炭素数 4 ~ 2 0 の - オレフィンから導かれる構成単位との合計は 1 1 モル % ~ 5 0 モル % であり、プロピレンから導かれる構成単位とエチレンから導かれる構成単位と炭素数 4 ~ 2 0 の - オレフィンから導かれる構成単位との合計は 1 0 0 モル % である) プロピレン・エチレン・ - オレフィン共重合体 (B) 1 ~ 2 5 重量部と、

(3) エチレンから導かれる構成単位を 5 0 ~ 9 9 モル % の量で含有し、炭素原子数 3 ~ 2 0 の - オレフィンから導かれる構成単位を 1 ~ 5 0 モル % の量で含有し (エチレンと - オレフィンの合計を 1 0 0 モル % とする)、密度が 8 8 0 ~ 9 2 0 k g / m³ の範囲にあるエチレン・ - オレフィン共重合体 (C) 2 5 ~ 4 5 重量部、を含む (ただし、(A) と (B) と (C) の合計 1 0 0 重量部とする) ことを特徴とする射出成形用樹脂組成物。

【請求項 2】

プロピレン系重合体 (A) が、D S C により測定した T m が 1 2 0 以上 1 7 0 以下であるプロピレン系重合体であり、プロピレン・エチレン・ - オレフィン共重合体 (B) が、プロピレンから導かれる構成単位を 8 9 . 0 ~ 6 0 . 0 モル % の量で含有し、エチレンから導かれる構成単位を 1 0 . 0 ~ 2 5 . 0 モル % の量で含有し、さらに炭素原子数 4 ~ 2 0 の - オレフィンから導かれる構成単位を 1 . 0 ~ 2 5 . 0 モル % の量で含む (

ただし、エチレンから導かれる構成単位と炭素数 4 ~ 20 の α -オレフィンから導かれる構成単位との合計は 11 モル% ~ 40 モル%であり、プロピレンから導かれる構成単位とエチレンから導かれる構成単位と炭素数 4 ~ 20 の α -オレフィンから導かれる構成単位との合計は 100 モル%である) プロピレン・エチレン・ α -オレフィン共重合体であることを特徴とする請求項 1 記載の射出成形用樹脂組成物。

【請求項 3】

前記エチレン・ α -オレフィン共重合体 (C) が、

エチレンから導かれる構成単位を 55 ~ 99 モル%の量で含有し、炭素原子数 3 ~ 20 の α -オレフィンから導かれる構成単位を 1 ~ 45 モル%の量で含有(エチレンと α -オレフィンの合計を 100 モル%とする)し、MFR (ASTM D 1238、190、2.16 kg 荷重下) が 0.1 ~ 100 g / 10 分である請求項 1 または 2 に記載の射出成形用樹脂組成物。

【請求項 4】

前記プロピレン系重合体 (A) が、アイソタクティックプロピレン系重合体である請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の射出成形用樹脂組成物。

【請求項 5】

前記プロピレン・エチレン・ α -オレフィン共重合体 (B) の、GPC 法により求めた分子量分布 (Mw / Mn、Mw : 重量平均分子量、Mn : 数平均分子量、いずれもポリスチレン換算) が 3.5 以下であり、 ^{13}C -NMR により算出したアイソタクティックトライアド分率 (mm) が 85 % 以上であることを特徴とする請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の射出成形用樹脂組成物。

【請求項 6】

前記プロピレン・エチレン・ α -オレフィン共重合体 (B) の DSC で測定した融点 が、100 以下であるか又は融点が観測されないことを特徴とする請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項に記載の射出成形用樹脂組成物。

【請求項 7】

プロピレン系樹脂組成物 (P) 100 重量部に対し、結晶造核剤 (Q) が 0.01 ~ 2 重量部含有されていることを特徴とする請求項 1 ~ 6 のいずれか 1 項に記載の射出成形用樹脂組成物。

【請求項 8】

ASTM D - 1238 に準拠し、230、2.16 Kg 荷重下で測定したメルトフローレートが 1 ~ 100 (g / 10 分) であることを特徴とする請求項 1 ~ 7 のいずれか 1 項に記載の射出成形用樹脂組成物。

【請求項 9】

請求項 1 ~ 8 のいずれか 1 項に記載の射出成形用樹脂組成物を用いることを特徴とする射出成形体。